みなみっ子

90 号

令和８年 11 月 27 日（金）
南城市立大里南小学校
文責　校長　與儀　毅

学校教育目標　　自立　　協働　　創造

書くことで深まり、学ぶことで広がる

学校便りや校長便り（本校の教職員への発信文書）を書いていると、不思議なことに毎回「あれも伝えたい、これも書きたい」と、言葉にしたいことが次々と湧いてきます。そして、いざ文章にしようとペンを走らせると、「このことについてもっと正確に知りたい」「別の視点はないだろうか」と新たな疑問が生まれ、自然と本を手に取ったり、研修に足を運んだりしたくなります。

※11月27日現在、学校便りは90号、校長便りは58 号です。

「インプット（学ぶこと）」が増えると「アウトプット（表現すること）」が増え、アウトプットを続けることで、さらに深いインプットがしたくなる。この心地よい循環は、私たち大人の世界だけのものではありません。

本校の先生方もまた、日々の「教材研究」というインプットを大切にしています。教科書に書かれていることだけでなく、その背景にある物語や社会とのつながりまで深く学び、自分なりの視点をもって教室に立つ。だからこそ、授業の中で子どもたちのふとした疑問を受け止め、学びをもう一歩深くへと導くことができます。

子どもたちにも、日々の授業や読書で得た知識（インプット）を、自分の言葉で話したり、ノートにまとめたり、誰かに伝えたりすること（アウトプット）を大切にしてほしいと願っています。「伝える」ことで初めて自分の理解に気づき、「もっと知りたい」という次の学びへの意欲が芽生えるからです。

学び続ける大人の背中を見せながら、子どもたちとともに「知る楽しさ」と「伝える喜び」を味わう毎日を積み重ねてまいります。

